

ともに歩む株主  
経営に寄り添う株主<sup>②</sup>  
〈人材育成編〉

## 必要な情報を必要なタイミングで提供する 「フルカスタムメイドの支援」を実践

当社の投資先企業に向けて、海外展開支援や海外視察会の企画運営、国や自治体などが実施している中小企業支援施策の情報提供を主に担当しています。

海外展開支援では最近、他社との合併か自社単独かで悩んでいた、ある投資先企業の進出を支援しました。当社のネットワークの中から進出地域に詳しい専門家を選び、一緒に同社に何度も通い、合併と単独のどちらにすべきか、現地の実情を踏まえた議論を重ねました。その後、不動産の選定・取得から現地法人の会計処理スキームの構築までをお手伝いしました。

また海外視察会は、当社の望月晴文社長を団長に毎年1回、定員20名で実施しています。一昨年はメキシコ・南カリフォルニア、昨年はチェコ・ドイツを訪問

しました。毎回、当社の投資先企業や当社と関係の深い企業の現地法人を訪れ、工場などを見学するほか、訪問先企業の経営者や社員と食事をともしながら、本音で語り合います。

こうした機会を通じて、訪問先企業の取り組みや問題意識に触れる中で、「経営の気づきをお持ち帰りいただく」ことが、当社の海外視察会のモットー。海外進出を計画していない投資先企業の参加も多く、今年は11月に中国・深圳への視察会を予定しています。

中小企業支援施策情報の提供については、国や自治体などの補助金や、中小企業支援機関が実施する施策の情報をいち早く収集し、各投資先企業の担当者に情報を提供しています。

たとえば研究開発系の補助金で「これ

は投資先企業のA社さんのやりたいことに使えそうだ」というものがあれば、担当者に直接連絡し「A社さんにこの補助金を勧めてはどうですか」とアドバイスしています。

私たちが心がけているのは、個々の投資先企業がより良い企業に成長し、経営品質を向上させるのに役立つ「フルカスタムメイド」の支援。雑多な情報を一方的に発信するのは、誰にでもできることであり、そこには何の価値もありません。長期安定株主として、投資先企業を深く理解したうえで、適切な「前さばき」を行い、必要な情報や支援を必要なタイミングでいかに提供するかを判断する能力こそ、われわれの価値だと思います。



東京中小企業投資育成  
ビジネスサポート部 部長代理

### 関山大輔さん (37歳)

- 1980年12月 東京都生まれ
- 2004年3月 慶應義塾大学経済学部卒業
- 2004年4月 東京中小企業投資育成入社  
総務企画部、業務第四部(静岡県担当)、中小企業庁出向を経験。その間、早稲田大学大学院ファイナンス研究科で学び、2012年3月に同校を修了。2016年4月よりビジネスサポート部